

わたしたちの食卓から

地域の農業を

のぞいてみよう



毎日の食卓は、農業からはじまっている

わたしたちの食卓に並ぶ農産物は、農家の方々によって長い時間と多くの手間をかけて丁寧に生産されています。しかし、担い手の減少や国際情勢の変化、そして気候変動など、農業を取り巻く状況は大きく変わりつつあります。

わたしたちの暮らしを支える「食」と「農業」を次世代につないでいくために、毎日の生活のなかで実践できることは何か、一緒に考えてみましょう。



長野県

食卓を彩るとちぎの農産物

栃木県は豊かな水資源や広大な土地、長い日照時間など、農業に適した環境に恵まれており、山岳地帯から平野部まで、地域によって多様な農産物が生産されています。

首都圏に位置し、大消費地である東京圏へのアクセスの良さも流通面での大きな強みです。

ゆうがお（かんぴょう）、うど、こんにゃくいもなどの特産品の生産も盛んです。



暑さ、病気に強い
県オリジナル品種
とちぎの星



多収で品質が良い
県オリジナル品種
ゆめみどり



酪農も盛ん！
生産量全国第2位
生乳



いちご王国・栃木
主力品種！
とちごあいか



大玉で甘い！
県オリジナル品種
にっこり



栃木生まれのご当地魚！
**プレミアム
ヤシオマス**

農業の現場で今どんなことが起きている？

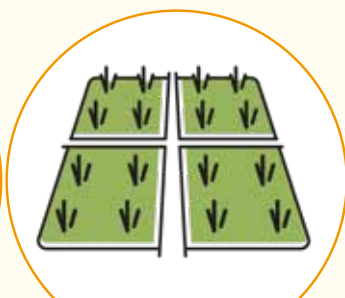
農業の現場では、担い手の減少や高齢化が進み、農業を主な仕事にする人は、この20年で半分ほどに減っています。その影響で耕作放棄地が増えたり、野生鳥獣による農作物への被害が広がったりと、さまざまな課題が生じています。さらに、気候変動による自然災害や酷暑、生産資材の価格高騰も農業に影響を与えています。

こうした中で、これからも安心して食料を手に入れられるか不安の声も上がっています。

農業の現場で起きている問題の一例



**担い手の減少や
高齢化**



**耕作放棄地※や
野生鳥獣害の増加**



**気候変動による
自然災害や酷暑**



**肥料・農薬、燃料など
生産資材の値上がり**

※耕作放棄地：以前耕作していた土地で、過去1年以上作物を作付けせず、この数年の間に再び作付けする意思のない土地

地域の農業を応援するためにわたしたちができること

Action1 地域の農産物を「選ぶ・食べる」

農産物直売所、スーパーなどで地域の農産物を「選ぶ・食べる」。

コンビニや飲食店で地域の農産物を使った料理を「選ぶ・食べる」。

地域の農産物を意識して「選択」することにより、心身の健康だけでなく、地域の農業の活性化、環境負荷の低減などにつながります。



生産

地域で安定した販路が確保され、収入ややりがいの向上につながります。

環境

輸送によるCO₂排出や包装が減り、環境への負荷を低減できます。



CO₂

消費

収穫から食卓に届くまでの時間が短く、新鮮な農産物が手に入ります。



食育コラム ～地域の恵みに感謝して食べよう～



「いただきます」は、農産物を育ててくれた人、料理を作ってくれた人などへの感謝を表す言葉です。食卓に並ぶ食材一つひとつに、自然の恵みとたくさんの人の手間がかかっています。

食材が食卓に届くまでの背景を思い描きながら、毎日の食事を「ありがとう」の気持ちでいただきましょう。



とちぎの
食と農業
アクションプロジェクト

とちぎの食と農業アクションプロジェクト推進協議会では、「食べる人」と「届ける人」が、お互いを理解し、応援し合う姿を目指し、県民のみなさんが楽しく参加しながら、食や農業について学べ、応援にもつながるような催しなどを展開しています。

あなたの「もう一步踏み出す行動」が、とちぎの食と農業を未来につなぎます！

詳しい情報は
ホームページを
ご覧ください

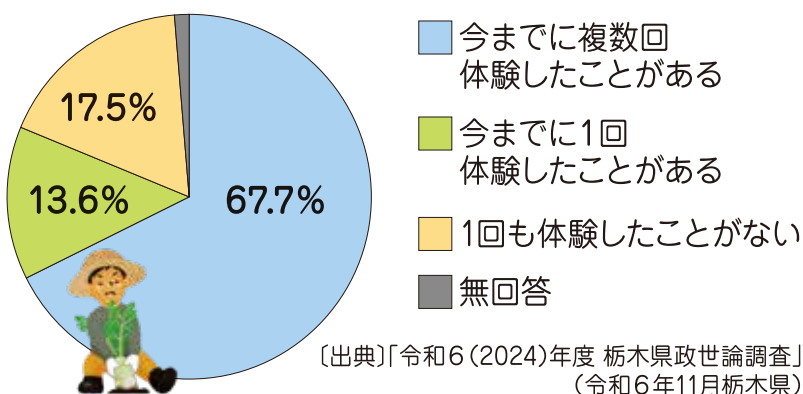


Action 2 農とふれあう体験をして食への理解を深めよう

生産者と交流しながら農産物を収穫したり、食の大切さを学んだりできる農業体験やイベントが各地域で開催されています。田畑に足を運び、土に触れ、農作物が育つ過程を体感することは、毎日の食卓がどのように支えられているかを学ぶ貴重な機会になります。

「農林漁業体験」をしたことがありますか？

Q あなたは、田植えやいちご狩り、乳搾りなど、農業体験をしたことがありますか。



Q 農林漁業体験に参加して、変化したことはありますか。

- ☒ 自然の恩恵や生産者への感謝を感じられるようになった
- ☒ 地元産や国産の食材を積極的に選ぶようになった
- ☒ 食べられなかった野菜などが食べられるようになった

〔出典〕「食育に関する意識調査報告書」(令和7年3月 農林水産省)

栃木県内の
農業体験やイベントの
情報が知りたい！



とちぎの農業体験、農村スポットを紹介する総合WEBサイト
食と農に関するイベントの情報収集、
休日のお出かけスポット探しにご活用ください！

(農政部農村振興課)

詳しい情報は
ホームページを
ご覧ください



食育コラム

～「教育の場」としての農業・農村の役割～

農業・農村は、食料の生産を支えているだけでなく、災害の防止、自然環境の保全、文化の伝承など様々な働きを持っています。このような働きを「**農業・農村の多面的機能**」といいます。「体験学習や教育の場」としての働きもそのひとつです。

このような農業・農村の大切な働きを未来へつないでいくため、わたしたち一人ひとりの小さな心がけが大きな力になります。



保健福祉部健康増進課
健康長寿推進班
TEL 028-623-3094

農政部農政課
食育・地産地消担当
TEL 028-623-2288

教育委員会事務局健康体育課
学校保健・給食担当
TEL 028-623-3419

栃木県農政部農政課